



平成 25 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 栄研化学株式会社  
代表者名 代表執行役社長 寺本哲也  
(コード番号：4549 東証第1部)  
問合せ先 広報部長 渡辺裕之  
(TEL 03-5846-3379)

## 栄研化学、ハイチにおける高感度・簡易な結核検査法の 導入・定着のため、TB-LAMP 法の技術移転を実施

栄研化学株式会社（本社：東京都台東区）は、途上国における経済成長を加速化するための官民連携促進策「成長加速化のための官民パートナーシップ」<sup>※1</sup>に対して、ハイチ共和国における医療分野の官民連携を提案しておりましたが、本年1月に採用され、同国における高感度・簡易な結核検査法の導入・定着を図る取り組みを開始いたしました。

具体的な活動としては、3月末から現地の検査実施機関（National Lab.等）において、現地の検査技師を対象に結核の診断法である TB-LAMP 法<sup>※2</sup>および培養検査法の研修と研修実施後のフォローアップ等を行います。なお、本研修は、非営利活動法人日本リザルツの協力、公益財団法人結核予防会結核研究所の技術支援の下、独立行政法人国際協力機構（JICA）との共催により実施いたします。

なお、今回の TB-LAMP 法による結核診断結果のデータは、FIND (Foundation for Innovative New Diagnostics)との共同開発として取り組んでおります当該検査法に対する WHO の推奨取得に必要な基礎データとして活用いたします。

ハイチ共和国は、西半球の最貧国で、2010年1月にはマグニチュード7.0の大地震が発生し、大きな被害を受けました。大地震後もコレラ等の感染症の流行、政治的混乱等によって復興が遅れています。また、結核の流行も社会に悪影響を及ぼしており、早期治療のみならず、感染防止が求められていました。栄研化学は、本パートナーシップにより、同国での高感度・簡易な結核検査法の定着を図り、同国の結核撲滅に貢献していきたいと考えております。

以上

※1：外務省ホームページ参照

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/kanmin.html>

※2：TB-LAMP法

栄研化学が独自に開発した遺伝子増幅技術LAMP法を使用した高感度で簡易な結核菌群検出検査。本法による検査時間は、生の喀痰検体からの核酸抽出に約10分、増幅反応が40分であり、結果の判定は紫外線照射装置を用いた目視判定が可能です。抽出から判定までを簡易な操作で、1時間以内に結果報告をすることができることから、患者の早期発見、早期治療、更には感染拡大防止に寄与できます。